

第2回富山県
外国人材活躍・多文化共生推進にかかる有識者検討会

外国人政策をめぐる政府の動向と
富山県条例およびプランに望まれる
方向性・取り組みについて

一般財団法人ダイバーシティ研究所
代表理事 田村太郎

富山県のプランや条例に期待されること

ステークホルダーの羅針盤となるプラン・条例を

- プランや条例は、**県内市町や事業者、NPOなど関係者が力を合わせるために、**県が課題や目標を整理して方向性を明確にするもの
- 大きなビジョンのもとに重点施策を示し、施策ごとに担当する部署やKPIをまとめたうえで、進捗確認の方法も決めておく

多文化共生への県民からの理解の促進

- これから日本が直面する人口減少社会は過去の人口減少のケースと異なり、高齢者が著しく多い数十年間を乗り越えなければならない危機である
- 産業を支える人材の確保や地域での助け合いを維持するために、**若者・女性・高齢者の活躍と並列して外国人の力も借りる必要があることへの理解を促す**

外国人が家族とともに地域で暮らすための社会インフラの整備

- 「子育て支援」と「多文化共生」はこれからの自治体施策の二本柱
- 日本語教育や生活支援は地域の持続可能生に不可欠な社会インフラである
- 外国人との共生は「雇用する企業の問題」ではなく、「**地域の未来のために取り組むこと**」として、必要な施策を具体的かつ期限を区切って整備する

多文化共生社会形成の成否が、富山県の10年後を左右する

関係閣僚会議および有識者会議での論点

「秩序」と「共生」は二項対立ではなく表裏一体

- 一部で「制度の誤用・乱用」が指摘されるが、有識者会議の資料で事実が明らかに
- 政府がデータを公表することは、まちがった情報の流布を防ぎ、不安の払拭につながる
- 一方で、外国人に関する基礎的なデータもない分野があることも事実（保険料の納付状況など）
- 「制度の適切な利用」は「外国人住民の権利保障」と表裏一体であり、これまでの課題が浮き彫りになったと考えるべき

政府の動向から予測される今後の取り組みについて

総理指示を踏まえた今後の取り組みについて

世帯ごとに抜け・漏れのない制度利用を促進

- 外国人住民がこれまで放置されてきた現実を直視し、共生社会に必要な社会インフラの整備を急ぐ
- 言語教育に加え、文化習慣や制度のオリエンテーションを含む「社会統合プログラム」(欧州で2000年代半ばから展開)はひとつのモデルになると思われる
- 入国前審査システム(JESTA)や住基・マイナ情報とも連動し、世帯毎に日本語力や生活ニーズをアセスメントして支援とつなぐ制度の検討が有効と考えられる

総合的対応策の改訂(26年1月)以降の動きについて

相互理解の取り組みが自治体の最重要施策となる

- ・ デジタルを活用した全国一律での日本語教育や多言語対応が推進されると、自治体の役割は相互理解とマッチング支援が軸となる
- ・ ロードマップは官民連携で策定し、外国人との共生社会はマルチステークホルダー型で進めていくことが望ましい
 - 民間の役割も明記する
 - 外国人の責務、社会参画も重要

1. 情報開示とビジョンの提示による相互理解の促進

- ・ 「急激な状況の変化」と「わからないこと」が不安を増幅させる
- ・ 政府の情報などを参照し、富山県や内外の現状を定期的・体系的に公開することで、県民の不安の払拭に努める
- ・ 「多文化共生」は誰もが安心できる社会づくり・地域の未来のための取り組みであることを前面に打ち出す

2. 確実なニーズの把握とリソースとの「マッチング支援」

- 労働者としての在留資格は日本語能力と紐付く方向だが、増加が見込まれる家族への日本語や生活支援が課題
- 基礎自治体が転入、出産、就学、就職といったライフイベントで確実なニーズ把握と支援への接続を行えるよう、県は国等と連携して指針の提示やシステム支援を行うことが期待される
- 世帯毎のアセスメントで可視化されるニーズに地域で対応できる人材・組織の育成が急務。リソースがないとニーズに対応できない

まとめ

誰もが安心できる社会の形成に向け相互理解の取り組みを第一に

- ・正確な情報を提供することで、まちがった情報の流布を防ぐ
- ・小さな対話の機会を増やし、顔の見える関係を構築する

ライフステージごとに体系的な生活支援・コミュニケーション支援を

- ・生活者としての外国人の視点から抜け・漏れのない制度の利用を促す
- ・ニーズに対応できる人材の育成、地域一丸となったキャパシティの構築を急ぐ

外国人の定着・活躍が地域全体の利益になることを強調

- ・「多様な人が活躍できる地域づくり」の中で外国人の力も借りることへの理解を促す
- ・「外国人支援」ではなく「多文化共生」という原点を見直す